

高校生 ICT 2015 Conference

in 大分

言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！

～ 高校生のボクたちだから ～

開催報告書

2015年8月29日(土) 10:00-16:00

【会場】アイネス、大分県消費生活・男女共同参画プラザ

主催

公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所

高校生 ICT Conference 実行委員会

共催

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省

大分県教育委員会、大分県高等学校 PTA 連合会

| | |
|---|---|
| 1. 開催概要..... | 1 |
| 2. 高校生 ICT Conference 2015 地域開催..... | 3 |
| 3. 高校生 ICT Conference 2015 in 大分 開催概要 | 4 |
| 4. 主担当..... | 7 |
| 5. 高校生 ICT Conference 2015 サミット..... | 8 |
| 6. 高校生 ICT Conference 最終報告会 | 8 |
| 7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応 | 8 |

1. 開催概要

| | |
|-------|--|
| 名 称： | <p>高校生 ICT Conference 2015</p> <p>テーマ</p> <p>言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！</p> <p>～ 高校生のボクたちだから ～</p> <p>第1部「大人のルール&マナー」</p> <p>第2部「大人が作った子どものルール&マナーを考える」</p> |
| 主催： | <ul style="list-style-type: none"> ● 公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 ● 高校生 ICT Conference 実行委員会 <p>(構成：安心ネットづくり促進協議会、大阪私学教育情報化研究会、一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構、一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 長野教育委員会 (長野のみ) ● 福岡県青少年インターネット適正利用推進協議会 (福岡のみ) ● 特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム (神奈川のみ) |
| 共催： | <p>内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、大分県教育委員会、大分県高等学校 PTA 連合会、帝塚山大学 (奈良のみ)、神奈川県教育委員会 (神奈川のみ)</p> |
| 後援： | <p>一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構、独立行政法人情報処理推進機構、公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所、全国高等学校情報教育研究会、北海道、北海道教育委員会、北海道高等学校 PTA 連合会、北海道青少年有害情報対策実行委員会、大阪府高等学校情報教育研究会、東京都高等学校情報教育研究会、奈良県、奈良県情報教育研究会、奈良県教育委員会、福岡県公立高等学校長協会、福岡県私学協会、福岡県公立高等学校 PTA 連合会、石川県、石川県教育委員会、石川県高等学校長協会、石川県高等学校 PTA 連合会、いしかわ青少年安心ネット環境推進連絡会、北陸携帯電話販売店協会</p> |
| 協賛： | <p>株式会社サイバーエージェント、グーグル株式会社、株式会社ディー・エヌ・エー、グリー株式会社、LINE 株式会社、株式会社ラック、株式会社メディア開発綜研</p> |
| 協力： | <p>アルプス システム インテグレーション株式会社、株式会社内田洋行、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、一般社団法人情報教育研究所、デジタルアーツ株式会社、株式会社ミクシィ (順不同)</p> |
| 開催目的： | <p>高校生 ICT Conference は、2011 年度に「ICT プロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～」として大阪でスタートしました。2012 年度は、東京開催を加え計 17 校 79 人の高校生が参加し、2013 年度は、東京・大阪に加え、北海道、奈良、大分を新たに加えて 5 拠点にて開催し、計 51 校 267 人の高校生が参加しました。2014 度も同 5 拠点にて開催し、計 44 校 221 人の高校生が参加しました。</p> <p>高校生 ICT Conference の開催目的には、二つの側面があります。その一つは、教</p> |

| | |
|------------|---|
| | <p>育的側面であり、初対面の人と話し合うという経験の中で、段階的に「考え、まとめる、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二に社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることです。</p> <p>2015年度は、より全国的な規模での展開に向けて開催地域を拡大、新たに石川、長野、神奈川、福岡を加え開催します。</p> <p>さらに当事者たる高校生の意見を中央に届けるべく、各地域の代表者はサミットにより提言をまとめ、内閣府、総務省、文部科学省で発表を予定しています。</p> <p>※平成21年4月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成23年度の小学校を皮切りに、平成24年は中学校、平成25年度は高等学校で全面实施される。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しいICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全にICTを利活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。今年度は、スマートフォンの登場などにより急速に変化したインターネット利用環境下における諸問題について議論し、高校生が家庭や学校で取組むべき課題とともに、行政、事業者等への要望について本取組で提案し参考に資する。</p> |
| 開催の概要： | <p>【各開催地での内容】※日程は、2. 地域開催の欄をご覧ください。</p> <p>・第一部 「大人のルール&マナー」 (1) 挨拶 (2) 講演 (3) 熟議イントロダクション (4) 熟議 (5) グループ発表 (6) 講評</p> <p>・第二部 「大人が作った子どものルール&マナーを考える」 (1) 挨拶 (2) 講演 (3) 熟議 (4) グループ発表 (4) 総評 (5) サミット参加者発表</p> <p>【サミット】「言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！ ～ 高校生のボクたちだから ～」 (1) 挨拶 (2) アイスブレイク (3) 提言のための熟議 (4) 提言発表 (5) 講評 (6) 最終報告会参加者発表</p> <p>【最終報告会】 内閣府「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」 総務省、文部科学省、経済産業省にて成果・提言報告及び意見交換</p> |
| 各開催地募集人員等： | 募集参加生徒 30名 募集見学者各回 30名（各開催地により変動あり） |
| 参加・参観方法： | 参加費・参観無料 [要事前登録] |

| | |
|--|---|
| 高校生 ICT Conference 2015 実行委 員会： | 【委員長】 <ul style="list-style-type: none"> 米田 謙三（大阪私学教育情報化研究会 副会長） 【コアメンバー】 <ul style="list-style-type: none"> 齋藤 長行（青山学院大学 株式会社 KDDI 研究所） 猪股 富美子（お茶の水女子大学 人間発達科学研究所） 石田 幸枝（公益社団法人全国消費生活相談員協会 IT 研究会代表・消費者団体訴訟室長） 植田 威（特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム理事） 小城 英子（聖心女子大学） 他、関係者団体、事業者等 【事務局】 安心ネットづくり促進協議会 〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目 14 番 6 号 齋藤ビル 2 階 TEL: 03-3562-8850 FAX: 03-3562-1180 |
|--|---|

2. 高校生 ICT Conference 2015 地域開催

高校生 ICT Conference 地域開催では参加した高校生が 2 つのテーマに沿った議論を実施し、サミットへ行く代表者を選抜します。

| | 地域 | 第 1 回 | 第 2 回 | 会場 |
|----------|-----|-----------------------------|---------------------|------------------------|
| 地域 開催 | 北海道 | 2015 年 9 月 27 日（日） | 2015 年 10 月 18 日（日） | 札幌ユビキタス協創広場 U-cala |
| | 石川 | 2015 年 9 月 13 日（日） | — | 金沢商工会議所 |
| | 長野 | 2015 年 9 月 5 日（土） | 2015 年 10 月 3 日（土） | 松本駅前会館 |
| | 東京 | 2015 年 10 月 11 日（日） | — | 東京ユビキタス協創広場 CANVAS |
| | 神奈川 | 2015 年 10 月 4 日（日） | — | 岩崎学園 |
| | 大阪 | 2015 年 7 月 25 日（土） | 2015 年 9 月 20 日（日） | ① 内田洋行 ②大阪私学会館 |
| | 奈良 | 2015 年 7 月 26 日（日） | — | 帝塚山大学 東生駒キャンパス |
| | 福岡 | 2015 年 9 月 12 日（土） | — | ガスホール |
| | 大分 | 2015 年 8 月 29 日（土） | — | アイネス、大分県消費生活・男女共同参画プラザ |
| サミット | | 2015 年 11 月 3 日 13:30～17:00 | | 東京ユビキタス協創広場 CANVAS |
| 最終報告会 | | 2015 年 12 月中旬頃 | | |

3. 高校生 ICT Conference 2015 in 大分 開催概要

| | |
|----|---|
| 概要 | <p>高校生、教員、企業関係者など 67 名の参加者を得て、「大人が作った子どものルール&マナーを考える」をテーマに高校生がグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。</p> <p>【リアル熟議】 主旨説明 ハイパーネットワーク社会研究所 渡辺 律子 様 高校生 ICT カンファレンスの意義や目的などあわせて本日の流れも紹介しました。</p> <p>開会の挨拶 文部科学省スポーツ・青少年局参事官（青少年健全育成担当）付青少年有害環境対策専門官 八木澤 寛 様 高校生 ICT Conference の意義及び文部科学省の役割についてもあわせて紹介いただき、「高校野球のように白熱した議論を通じて、この時間を楽しんでほしい」とコメントをいただきました。</p> <p>総務省 九州総合通信局 情報通信部 電気通信事業課長 國井 和裕 様 総務省のネット利用状況調査、情報モラル・リテラシー教育などの取り組みや大分県における条例に基づいた取組についてお話しいただきました。</p> <p>第一部 事業者による講演 企業から、以下の様な内容で発表いただきました。</p> <p>『インターネットを過去と未来から考える』 ソフトバンク株式会社 渉外本部 佐治 健史 様 これまでのインターネットの発展を振り返りながら、同時にトラブルもさまざまに変化し、国や民間でその対策と啓発が行われてきました。 次代を担う高校生の皆さんが、これまでの人々の経験に学び、インターネットをよりよく活用していくこととお話しいただきました。 また、クラウドにつながる進化の象徴として、感情認識パーソナルロボット「Pepper」のお話しもありました。</p> <p>参加校 学校紹介 および グループ分け まず、今回のテーマについてのイントロダクションとして、ルールとマナーについて、どのような視点で進めていくかを説明し、参加校紹介を行いました。その後グループ分けして6つのグループに分かれ、最初にネット利用「今自分たちの身の周りで起きている問題」について話し合いました。</p> |
|----|---|

第二部：熟議「大人が作った子どものルール&マナーを考える」

ハイパーネットワーク社会研究所、大分市教育センター、教育委員会、大分大学大学院生の方等がファシリテーターとなり、高校生熟議を開始しました。

以下の流れで30分ずつ時間を区切り、熟議を進めました。

- ・大人のルール・マナー
- ・大人に注意されることやよく言われること
- ・自分たちで考えるルール・マナー

高校生たちは付箋紙に考えていることを提示していき、活発な意見を出し合っていました。ネットの問題については大人が知らな過ぎるといった問題点を提示しつつ、その大人に向けた発信方法を検討しているグループもありました。ルールとマナーを深く考え込み、分析していたグループもありました。そこからいよいよ今回のテーマの大人が作った子どものルール&マナーを考えるということで「高校生だからいえる提言」をキーワードにさらに付箋紙などを使いながらまとめていきました。付箋紙を模造紙に貼り付けていく中で意見を整理分類して、各グループでパソコンを使ってパワーポイントにまとめて行きました。細かなテーマにしぼった班や少し大きなテーマで取り組んだ班などいろいろとありました。

書記は大分大学や芸術文化短期大学の大学生が担当し、滞りなくまとめることができました。

(詳細は別紙「熟議録」をご参照ください)

第三部：グループ発表

- ・グループ発表（各グループ3分程度）

今回のポイントは前半の事業者様の講演に対して、高校生がかなりうまく活用していたことです。スマホの明暗をうまく読み取り、つなげて発表していました。読むことができない利用規約をどのように考えるのか、SNSで発信する言葉に対してのおもいやり、コミュニケーションの大切さをうまくまとめてくれました。

全体司会 ハイパーネットワーク社会研究所 原田 美織 様より逐次コメントをいただきました。

その後、11月3日に東京で開催されるサミットへの大分からの代表者を選考し、発表しました。

講評 大分県教育委員会 教育次長 落合 弘 様

各グループの発表を振り返り、1つ1つポイント・キーワードをあげて丁寧にコメントをいただきました。

参加各校の皆さん本日の熟議の結果を学校に持ち帰ってさらに深め、代表になった学校は東京サミットにおいても更に深める議論をしていただきたいというコメントで締めくくられました。

| | |
|---------|---|
| 参加校： | 大分県立大分雄城台高等学校、大分県立大分工業高等学校、大分県立宇佐産業科学高等学校、大分県立由布高等学校、大分県立大分南高等学校、大分県立大分鶴崎高等学校、大分県立大分商業高等学校、大分県立中津東高等学校 |
| 日 時： | 2015年8月29日(土) 10:00-16:00 |
| 場 所： | アイネス、大分県消費生活・男女共同参画プラザ 大分市東春日町1番1号 エヌエス大分ビル |
| 参加人数： | 熟議参加生徒 30人 見学者・関係者 37人(教員・教育関係者・その他) 合計：67人 |
| 熟議グループ： | 熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。(敬称略) 【第1班】”ハーレムYY” 5人 大分県立由布高等学校 3年 女子 大分県立由布高等学校 3年 男子 大分県立大分商業高等学校 1年 女子 大分県立大分南高等学校 2年 女子 大分県立大分工業高等学校 3年 女子 〔ファシリテーター〕 大分市教育センター 柴尾 則子 〔書記〕 大分大学教育福祉科学部3年 原 歩実 【第2班】”おんせんぴーぼーい” 5人 大分県立大分工業高等学校 3年 男子 大分県立由布高等学校 3年 女子 大分雄城台高等学校 2年 女子 大分県立大分商業高等学校 1年 女子 大分県立大分南高等学校 2年 女子 〔ファシリテーター〕 中津市教育委員会 学校教育課 黒川 智子 〔書記〕 大分市情報学習センター 荒巻 久美子 【第3班】”しょうが焼き定食(大盛り)¥500” 5人 大分県立宇佐産業科学高等学校 2年 女子 大分県立由布高等学校 3年 女子 大分県立大分工業高等学校 3年 男子 大分県立中津東高等学校 2年 女子 大分雄城台高等学校 2年 女子 〔ファシリテーター〕 ハイパーネットワーク社会研究所 芳崎 哲也 〔書記〕 |

| | |
|--|--|
| | <p>日本文理大学 梶原 百香</p> <p>【第4班】” UNO” 5人 大分雄城台高等学校 2年 女子 大分県立中津東高等学校 2年 男子 大分県立宇佐産業科学高等学校 2年 女子 大分県立大分鶴崎高等学校 3年 女子 大分雄城台高等学校 2年 女子 〔ファシリテーター〕 ハイパーネットワーク社会研究所 七條 麻衣子 〔書記〕 大分大学 大津 春輝</p> <p>【第5班】” おんせん” 5人 大分県立中津東高等学校 2年 男子 大分県立中津東高等学校 1年 男子 大分県立大分鶴崎高等学校 3年 女子 大分県立宇佐産業科学高等学校 3年 男子 大分県立由布高等学校 3年 男子 〔ファシリテーター〕 大分大学教育福祉科学部大学院生 首藤 麻衣</p> <p>【第6班】” 劇ダンシング😊マイル” 5人 大分県立中津東高等学校 2年 男子 大分県立中津東高等学校 1年 男子 大分県立大分鶴崎高等学校 3年 女子 大分県立宇佐産業科学高等学校 3年 男子 大分県立由布高等学校 3年 男子 〔ファシリテーター〕 ハイパーネットワーク社会研究所 渡辺 律子 〔書記〕 大分県立芸術文化短期大学 伊藤 成葉</p> |
|--|--|

4. 主担当

| | | |
|--------------------------|------|-------------------------------|
| ハイパーネットワーク社会研究所 | 渡辺 他 | 司会、ファシリテーター、書記手配、庶務、受付 |
| 安心ネットづくり促進協議会 | 白戸 他 | 事務局、庶務 |
| 草の根サイバーセキュリティ運動 全国連絡会 | 吉岡 | 庶務、受付 |
| 各地協力団体、事業者、大学等 | | 講演、ノベルティ、ファシリテーター、書記、記録（撮影）、他 |

(開催後の予定)

5. 高校生 ICT Conference 2015 サミット

高校生 ICT Conference 2015 サミットは、各地で開催された Conference の成果を高校生の代表として提言をまとめるための場です。その代表者の選考は以下の手順によります。

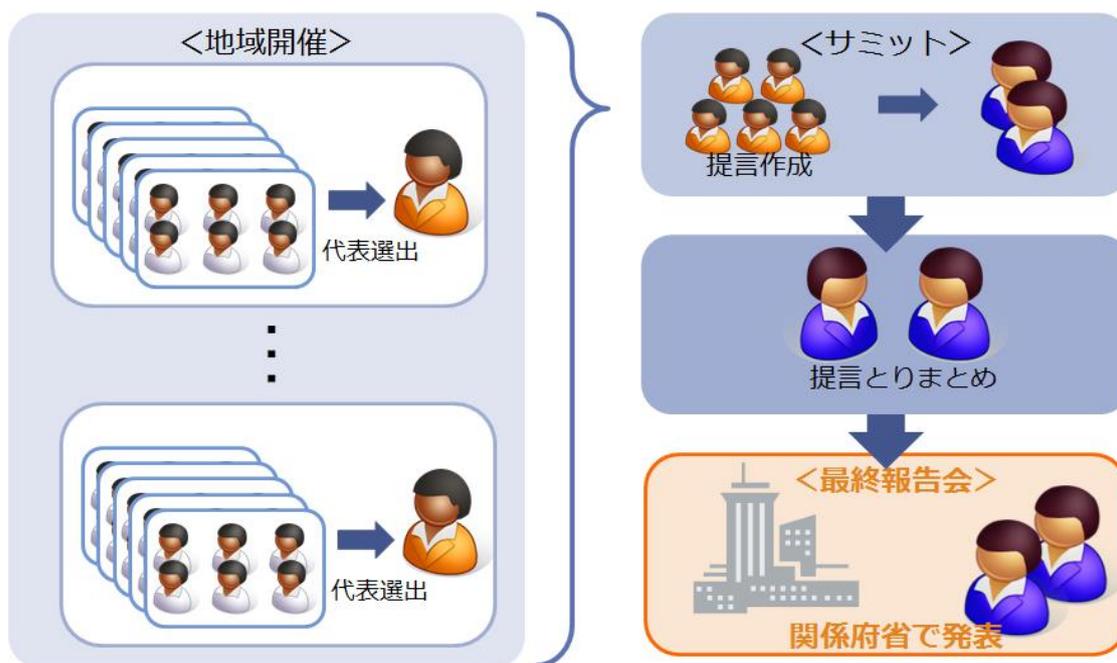
- 1) 参加が決まった場合、参加生徒を決めていただき、事前に登録をする
- 2) 終了後、各校の引率教職員と参加校代表生徒の投票を基に代表を選出
- 3) 各地の代表者でサミット開催
- 4) サミット終了後、最終報告会で発表する代表 2 名を上記手順と同様に選出
- 5) 最終報告会代表者が、サミットの内容を提言にまとめ、最終報告会で提言発表を行う

6. 高校生 ICT Conference 最終報告会

高校生 ICT Conference 2015 サミットで検討された提言を、選出された代表者 2 名が報告用にとりまとめを行い、関係府省にて報告を行うとともに、関係府省担当者との意見交換によりコミュニケーションを語る。

【報告先予定府省】

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省



7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応

- 1) グループ発表の画面の撮影 (又は画像保存)
- 2) Conference 終了後、発表の画像と併せて高校生 ICT Conference 2015 のサイトにアップデート
- 3) 終了後、講評と併せて、各会場責任者にて取りまとめ
- 4) 高校生 ICT Conference 2015 サミット終了後、実行委員会にて取りまとめ
- 5) 高校生 ICT Conference 2015 サミット代表者による最終報告会用資料の作成
- 6) 最終報告会での発表